Open AM コンソーシアム



アジェンダ

- コンソーシアム版 OpenAM 開発状況
 - OpenAM 開発
 - Web Agent 開発
 - コミュニティサイト
- CNA 活動について



OpenAM 開発

OpenAM 15 開発

状況	バージョン情報を15.0.0-SNAPSHOT として次バージョンの 開発中。
実施内容	セキュリティ FIX(1件)セキュリティリリース (14.0.2)
今後の予定	■ 3~4 年のスパンで開発を想定 ■ 新規機能の検討・開発 ⇒ DevOps 推進 ⇒ プロトコルの更新への追随 (OAuth/OIDC/WebAuthn) ⇒ REST API の拡充と XUI 化 ⇒ ライブラリのアップデート・排除 ⇒ OpenJDK 21 対応 ⇒ Jakarta EE 対応 ⇒ OGIS・OSSTech の独自機能の移行



OpenAM 開発 - セキュリティFIX

今年度は SAML IdP の DoS 脆弱性 (CVE-2025-8662)を修正し、セキュリティリリース (14.0.2) を提供。



OpenAM 開発 - 開発中の機能(1)

- 管理コンソールのリライト (継続)
 - SvelteKitというWeb開発フレームワークを利用してリライト中
 - 画像は開発中の管理コンソール(デザインは 既存と変わらない)





OpenAM 開発 - 開発中の機能(1)

- 新たに共通タスク、セッション、SAML2 プロバイダー、トラストサークル、STSについて対応







OpenAM 開発 - 開発中の機能(1)







OpenAM 開発 - 開発中の機能(2)

- OAuth / OIDC のエンハンス
 - クライアント認証方式として client_secret_jwt をサポート
 - デバイスフローの実装を RFC 8628 に準拠



OpenAM 開発 - 開発中の機能(3)

- アルゴリズムの強化
 - SAMLの暗号化アルゴリズムとしてAES-GCM をサポート
 - 管理者ユーザーやエージェントユーザーのパ スワードハッシュアルゴリズムとして Argon2 をサポート



OpenAM 開発 - 開発中の機能(4)

- ライブラリの更新
 - Node.js を v22 にアップデート
 - Java 内部 API の廃止



OpenAM 開発 - 開発中の機能(2)

- その他のエンハンス
 - 証明書認証モジュール
 - ▶クライアント証明書の値を正規表現で抽出してユーザー名とする機能
 - ▶クライアント証明書の値で検索したユーザーの属性をユーザー名とする機能
 - SAMLの性能改善



Web Agent 開発

今後の予定

Agent 4.2 開発開始状況これまでコンソーシアム版として OpenAM を対象としてきた。
新たに Web Agent もフォークし、開発を開始した。https://github.com/openam-jp/web-agents実施内容今年度は進捗無し。

ス予定。

OGIS、OSSTech のパッチをマージして 4.2.0 としてリリー



コミュニティサイトの作成

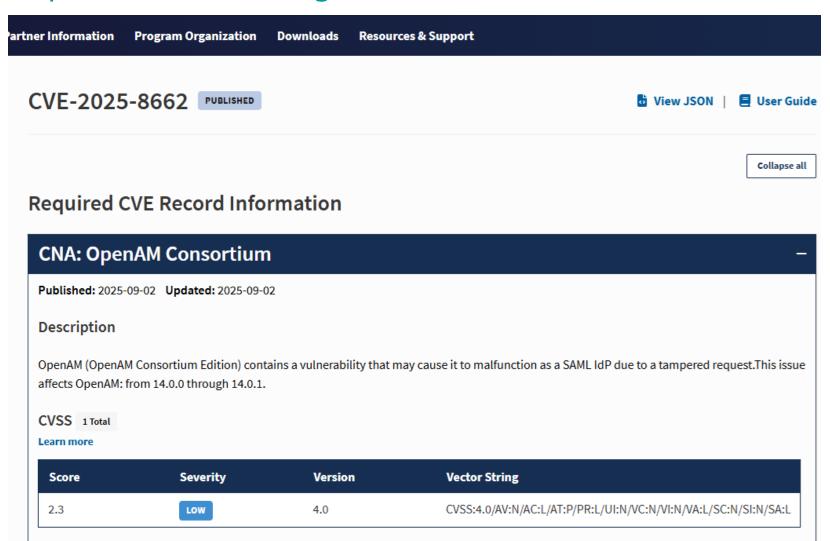
状況	GitHub Pages でコミュニティサイトを作成。
	https://openam-jp.github.io/ja/
	現時点のコンテンツはOpenAM 14のリリース時に GitHub wiki で公開した内容(リリースノートや新機能の説明など)。
実施内容	脆弱性の修正に併せてセキュリティアドバイザリーページを 準備。
	https://openam-jp.github.io/ja/Advisories/CVE-2025-8662/
今後の予定	コンテンツを拡充していく。新機能を追加した際に利用手順等を追加する。

CNA 活動について



CNAとして脆弱性(CVE-2025-8662)を公開

https://www.cve.org/CVERecord?id=CVE-2025-8662





https://www.openam.jp/